

成果報告書

地域文化倶楽部(仮称)創設支援事業

団体名	ミラレソ株式会社		
所在地	東京都渋谷区初台1-31-9 初台三十一番館104	設立年	2021年
運営主体	ミラレソ株式会社		
事業目標	「渋谷区 中学ジャズ部」(名称: 渋谷ジュニアジャズクラブ) 渋谷区在住、通学の中学生を対象とした「ジャズ部」。現役で活躍しているプロの演奏家の指導を受けながら、アンサンブルの基礎を身に付け、ジャズの本質である即興演奏を経験する。		
きっかけ	中学校での「ジャズ部」の存在は現状多くはないが、吹奏楽、ブラスバンド、軽音楽などの活動に含まれる形でジャズ演奏は多くおこなわれており、ジャズビッグバンド部を持つ中学も昨今増えてきています。しかしながら、ジャズの最も本質的な要素である「即興演奏」を指導できる教師はあまりいない現状があります。吹奏楽部、軽音楽部などは規模的に学外への移行には段階が必要だが、「ジャズ部」として吹奏楽、ブラスバンド、軽音楽部などから、ジャズを志向する生徒を抽出することでより質の高い活動ができると考えました。		
団体・組織等の連携	ミラレソ株式会社(飯田雅春) 事務局および監修 hirokimusic 廣木光一氏 指導方針、カリキュラムなど助言 HABUBAN運営委員会 指導者 ドラム 指導者 ギター 指導者 管楽器など 毎回、楽器パートの バランスを考えながら 2名の指導者を手配 渋谷区教育委員会……後援 渋谷ユナイテッド……協力		
活動場所	渋谷区内音楽スタジオ(スタジオセオリ、初回のみゲイトウェイスタジオ)		

活動概要	6月18日～2月25日まで25回の活動をおこないました。 開催時間は土曜14:15～15:45の90分で学校の部活動との両立をしやすい日程として土曜としました。集まった生徒の楽器構成は、ギター2名、ベース2名、トランペット1名、サックス2名の計7名で、想定していたよりも初心者が多く、大半が担当楽器の演奏自体未経験でした。そのため本来予定していたジャズの即興演奏の前に、楽器演奏の基礎から指導する必要がありました。全ての楽器に対応できる講師陣を手配していたので対応できましたが、手配講師人数を当初毎回2名の計画だったところを2.5名程度に増やす必要がありました。コロナの影響や各学校の土曜授業の関係から欠席者も多く、実質の活動は平均3～4名で実施しました。 年間での活動目標を当初は「ジャズのブルース進行を理解し、アドリブソロを2～3コーラス演奏できる状態」としましたが、リズム面において中学生により身近に感じられるファンク・8ビートでの楽曲を軸に指導することに切り替え、ブルース進行ではなくワンコードでのリズムセクション演奏および、アドリブソロが目標に切り替えました。 また、11月～2月にかけて、ポップス系の題材を採り上げたところ生徒たちのモチベーションが向上し、それを受けて、最後の数ヶ月はポップス曲2曲を課題曲として採り上げました。 最終日には保護者、友人、関係者を招いてスタジオでのミニライブ形式の発表会を開催しました。 当初予定していた「ジャズの即興演奏」以前の「音楽・バンドのアンサンブル」経験に重点を置いた活動となりました。標準的な中学生にとってはその方がなじみやすく、モチベーションも高く維持できるようでした。
------	--

○本事業による成果

特に後半、ポップス系のなじみのある楽曲を課題曲としてからは生徒のモチベーション、上達度合いが高まり、最終日には楽器経験8ヶ月ながらミニライブ形式で2曲を披露できるレベルまで成長しました。

週1日だけの活動ですので、吹奏楽部の教員の負担を減らすことには簡単にはつながらなかったとは思われますが、指導者を各楽器のプロ演奏家が担当することで、教員ではカバーしきれないきめ細やかな指導を行うことができたと思います。

アンケート結果

【生徒の声】

とても楽しかったです。

ギターを弾けるようになった事はもちろん、皆とセッションする楽しさも学べました。また、ジャズについての知識も深まり、音楽はもっと自由で良いんだな、と思いました。アドリブは難しかったけど、何をしても「それは違う」と言われないのは新鮮で、日常生活でももっと自由に表現してみてもいいのかもしれないと感じました。素敵な体験をさせていただけて、嬉しかったです。ありがとうございました。

【保護者の声】

テレビやネット動画でなくプロミュージシャンの生演奏を聴き、学び楽しむことができ普通では考えられない経験が娘は出来たはずです。本人も先生達のお手本演奏を聴いて感動していました。それに活動に参加する事により音楽活動の楽しさを実感しています。

○児童・生徒への指導に関する工夫

- ・楽器経験のない生徒に対してはチューニングの仕方、基本の奏法、必要な場合は購入楽器のアドバイスなど、個別指導を行いました。
- ・ジャズの代表的な演奏家の音源を一緒に聞く、講義も一部取り入れ、ジャズを身近に感じてもらう工夫をし
- ・楽器を問わず将来の糧になる、音楽理論の基礎講義やリズム感向上のための練習も行いました。
- ・即興演奏においては「間違い」は許容されること、周りの音を敬意を持って聴くことなど、アンサンブルにおいて重要なマインド面についても積極的に伝えました。
- ・最後の3ヶ月は生徒の意見も取り入れてポップス楽曲から技術的に可能な曲を2曲選定して指導しました。

○運営上の工夫

- ・毎回終了後に、楽譜や音源などの参考資料をメールでも共有し、欠席した生徒のフォローに務めました。
- ・当初会場を渋谷駅近くの音楽スタジオにしたところ治安上の不安をもつ保護者からの意見があり、2回目以降代々木上原のスタジオに変更しました。安心して通わせられる場所で開催できました。
- ・参加する生徒の担当楽器に応じて、担当講師の割り当てバランスを調整しました。

○継続的な運営に関する課題・展望

次年度から地域での予算・企画に移行するとの事で、早期から渋谷区の地域部活動をおこなっている「一般社団法人渋谷ユナイテッド」と連携について協議していました。
しかしながら渋谷区ではどちらかというとスポーツに力を入れている面もあり、来期渋谷区での予算確保は難しいことがわかりました。生徒と保護者から継続を希望する声は強いのですが、運営予算が確保できないことから今期のみで活動は終了とせざるを得なくなりました。

渋谷区、渋谷ユナイテッドなどで予算あるいは活動場所の提供などの協力が得られれば、再開することは可能です。

その場合「ジャズ」という枠組みは中学生にはやや敷居が高いため「軽音楽部」「バンド部」という枠組みで、小編成の音楽アンサンブルを行うことを目標にすることも考えてよいかと思います。

○令和5年度からの学校部活動の段階的な地域移行に関する方針・提案

渋谷区では渋谷区が設立した「一般社団法人渋谷ユナイテッド」が主催で学校横断型の部活動を行っています。

その中に組み入れる形で「軽音楽部」「バンド部」のような形で開催することが長期的には有効と考えます。
また、その際には会場として安価で楽器機材を常備した区の施設を使わせてもらえると運営コストも抑えることができ、保護者の安心にもつながると思います。

【参考】

アンケートより保護者の声

「子供達の全てがスポーツ活動をしたい訳でないはず。支援するのであれば音楽・美術等幅広い部活動を支援する事により将来を担う子供達の個性の発掘や独自性を伸ばす事ができると思います。」

アンケートより生徒の声

「ジャズに限らず、ポップスにも活動の幅を広げていけばいいのではないかと思います。一般的に、中学校には吹奏楽部はありますが、軽音部というものはありません。今は学校外でバンドを組むということもないですが、軽音部のような活動をしたいと思っている中学生は少なからず居るはず。そんな人たちのために、活動の場を設けてあげたらどうでしょうか。私はジャズを演奏していてとても楽しかったですが、やはり中学生にとってジャズというのは敷居が高すぎると感じます。なので、「シブヤジュニアジャズクラブ」でなく、「シブヤジュニアバンド」といったように、様々な音楽に活動を広げられるようにしたらどうでしょうか。いち学生の意見です。1年弱、先生達と音楽という時間を共にできてとても楽しく、とても貴重な経験をできたと思っています。もしまたこのような活動の機会があれば、声をかけてくれたら嬉しいです。ありがとうございました。」

○令和4年度 取組状況等

参加者	人数等	7名
	学校名	代々木中学、鉢山中学、本町学園
	募集方法	チラシを区内の中学に送付、配布
指導者	人数等	6
	募集方法	知人プロ演奏家のネットワークから選定
参加者の移動手段		徒歩、電車など
活動費用	指導者謝金等	1回1名あたり1万円(2時間)
	その他	スタジオ代 1回当たり1万円弱(2時間)
活動財源	会費	参加費 13000円(年間、1名あたり)
	その他	
スケジュール	基本活動	土曜日14:15~15:45(90分)
	年間	25回
保険加入等		あり(1名800円)

【活動の様子（写真添付）】

